

※記載例を参照の上、ご記入ください。

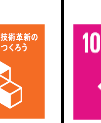
(様式第3号)

企業・団体名（ 諏訪瓦斯株式会社 ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			・特定社会保険労務士の指導により差別しない体制を構築し経営トップが積極的に関与している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			・コンプライアンス相談窓口の設置と、共に働く仲間の多様性や個性を尊重し働きやすい職場の環境作りに努めている ・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			・経営者が社員の就業管理を行っている ・労働基準法等の改正内容を特定社会保険労務士から月1回報告を受けている								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			・現時点では外国人労働者はいない ・人種・国籍等の差別を禁止している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・安全衛生管理委員会を設置し、事業者と社員との情報交換をし、労働環境の整備に取り組んでいる ・作業安全目標を設定し、ポスターの掲示をしている			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			・安全衛生管理委員会でメンタルヘルス対策を検討、実施している ・50人未満の事業規模ですが、年1回のストレスチェックを今後検討する			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・60歳定年以降の再雇用を実施している ・育児介護休業法や働き方改革に伴う、働きやすい環境整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			・職務や役割に応じて各種研修講習への参加、自己啓発による資格取得の推進 ・事業運営上で必要となる資格の更新管理・研修の実施				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			関係法令に則り、原則に沿った対応をしている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・協会けんぽ「健康づくりチャレンジ宣言」にエントリーをしている ・アクサ生命保険の指導のもと「健康経営」に取り組んでいる			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			・廃棄物の種類・量を把握し、適切な分別・処理を実施している ・産業廃棄物処理業者は、優良認定業者を選定している											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			・水道・電気・ガス利用量を月別に把握している ・温室効果ガス排出量を把握している							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			・温室効果ガス排出量を把握し、削減のためにエネルギー使用の削減計画を策定している ・長野県家庭の省エネサポート事業者に登録し、省エ							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			・SDS(製品安全データシート)に基づいた適切な管理・使用を行っている			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・環境にやさしい都市ガスの普及、省エネガス機器の促進を実施している						6.6								15			
16		【３Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・廃棄物の分別回収の徹底 ・ガス配管材料(ポリエチレン管)のリサイクルを実施している ・コピー用紙の裏紙使用、封筒の再利用を推進している									13		14.1						
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・水道の利用状況を管理している ・節水型設備(トイレ)の導入を推進している						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)	【非該当】		システム取得はしていないが、自社基準の環境マネジメント体制を構築している			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・自社HP等で環境情報を公開している											12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・お客さまへの太陽光発電設備の販売を行っている ・自社所有地を太陽光パネル設置場所として提供している							7.2						13				
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・お客様に対して省エネガス機器の導入促進、効率的なエネルギーシステム・サービスの提案を実施している											12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・コーポファイアフス委員会を設置し、相談窓口を周知している ・就業規則に基づき行動指針に記載し、社員に周知している															16 16.5		
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・コーポファイアフス委員会を設置し、相談窓口を周知している ・就業規則に基づき行動指針に記載し、社員に周知している															16		
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・商標等の知的財産について、登録・管理を行っている								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・情報管理規程を定め、個人情報を適切に管理している ・情報セキュリティ教育を毎年実施している															16		
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)	【非該当】		・取り扱っていない(取り扱う予定もない)															16		
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ステークホルダーに対して誠実・公正な対応をとることを行動指針に定め周知している					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定			3					8	9	10							17

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・ガス供給設備、お客さまのガス消費機器の定期点検の実施 ・緊急時に備え、24時間365日保安体制を構築している ・ガス漏れ警報器・業務用換気センサー(CO警報器)			3.9								12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・お客さまの声を把握し、要望・苦情に対して業務改善を推進している									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・省エネガス機器の提案・導入促進を行っている ・導管工事における浅層埋設による掘削量の削減や再生材料の利用による山砂の持込量の削減						6					12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・環境にやさしい都市ガスの普及、省エネガス機器の導入促進を行っている ・ヒートショックによる事故を防止するため、長野県ヒートショック啓発推進委員会に参画している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・安全かつ安定的なガス供給を可能とするため、経年管の取替えや供給設備の改善、導管網の整備等、供給システムの改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・県、市町村の防災訓練に参画している ・地域のお祭りや防災・環境イベントに参加している				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・諏訪商工会議所の地域資源活用委員会に所属し、地産地消を推進・推奨している								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			・経営者が適時、経営理念・行動指針・経営目標を社員に説明し共有している								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・コンプライアンス委員会を設置し、相談窓口を周知している ・就業規則に基づき行動指針に記載し、社員に周知している																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・各種委員会を設置して役割を明確化している(安全衛生管理委員会、保安委員会等)																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			・お客さまの声や、お客さまとの接点機会を通じてお客さまのご意見・ご要望を把握し、業務改善・お客さまの住生活改善に努めている																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・役職者会議で、毎年リスク状況を確認・評価を行い、優先順位と具体的な対策を検討・実施を行っている																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・環境に優しい都市ガスの普及促進と、安全かつ安定的な都市ガス供給に努めている																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・地震・事故時の事業継続計画(BCP)を策定し、毎年、事故や災害に備えた訓練を実施している ・災害時の事業継続のため、非常食の配備、非常用発電設備を設置している									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・継続的な人材採用、教育・育成を行っている								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定